

パナマ内政・外交（2021年8月定期報告）

【ポイント】

- ファイザー・ビオンテック社のワクチンが毎週パナマに到着するとともに、アストラゼネカ社ワクチンもパナマに到着した。
- 30日、保健省はワクチンの2回接種済みの入国者に対し、入国時の陰性証明書の提示や入国後の隔離措置を免除する旨の入国時の変更措置につき、発表した。
- 6日、モイネス外相は、ラミレス・コロンビア副大統領兼外相と会談し、両国が不法移民の国境地帯の危険地域の移動管理につき協力することで一致した。
- 11日、モイネス外相は、米州地域諸国に呼びかけて不法移民問題に関する初の閣僚級会合（オンライン）を実施した。
- 25日、モイネス外相は、移民に関する第1回地域会合（オンライン）に出席し、米国に向けた大規模な人の移動にかかる問題につき協議した。
- 17日、パナマ政府は、ハイチ地震の被災者に対し、チリ政府と協力して、15トンにおよぶ人道支援物資を送付した。
- 20日、モイネス外相は、OASの常設理事会特別会合（オンライン）に出席し、ハイチ地震における人道的危機について協議した。

【本文】

●内政

1 新型コロナウイルス関連：ワクチンの到着等

ファイザー・ビオンテック社（以下、ファイザー社）との直接契約分のワクチンが毎週パナマに到着した他、8日及び19日には、アストラゼネカ社ワクチン（直接契約分）32万6,400ドースもパナマに到着した。なお、1月から8月末までに到着したファイザー社ワクチンの合計総数は481万8,060ドースにのぼり、8月末までに、462万6,623ドースのワクチン接種（ファイザー社及びアストラゼネカ社ワクチン）が実施された。

2 新型コロナウイルス関連：パナマのワクチン接種率

汎米保健機構（PAHO）は、21日までのパナマのワクチン接種率（1回接種率）が61.1%に達したとしつつ、米州大陸において世界平均の32.4%を上回る国は、パナマを含む米、伯、墨、亜、ペルー、コロンビア、コスタリカの8か国であると発表した。

3 パナマ入国時の規制措置の変更

(1) 保健省は、30日付政令第833号において、パナマ入国時の規制措置の変更を発表した。

(2) 同日より、WHO、欧州医薬品局及び米国医薬品局が承認するワクチンを2回接種し、証明カード又はデジタル証明を所持し、かつ最後のワクチン接種から14日間以上が経過している入国者は、入国時の新型コロナウイルス検査陰性証明書の提示や入国後の隔離措置の免除につき、発表した。

(3) ワクチンの2回接種が完了していない高リスク感染国・地域以外から入国者は、72時間以内の新型コロナウイルス検査の陰性証明書（PCR検査又は抗原検査）又は入国時に行われた陰性証明書を提示することにより、到着後の隔離を免除する。

(4) ワクチンの2回接種が完了しておらず、かつ過去15日以内に衛生当局が指定する高リスク感染国（注）に滞在又はトランジットを行った入国者は、72時間以内の新型コロナウイルス検査の陰性証明書（PCR検査又は抗原検査）又は入国時に行われた陰性証明書を提示することに加え、入国後の72時間は、自宅又は衛生当局認可ホテル（自己負担）において予防的検疫措置に服すとともに、最後にPCR検査又は抗原検査で陰性となった場合は検疫措置を終了する。

（注）高リスク感染国：米国、キューバ、グアテマラ、コスタリカ、仏領ギアナ、英国、ギリシャ、ジョージア、エストニア、セルビア、マケドニア、モンテネグロ、アゼルバイジャン、イスラエル、マレーシア、モンゴル、南アフリカ、ギニアビサウ、チュニジア、フィジー（決議第2294号：

https://www.gacetaoficial.gob.pa/pdfTemp/29366_A/87019.pdf)

●外交

1 コロンビアからの不法移民の増加に関する関係諸国間との最近の動向

本年に入り、コロンビア国境からのパナマへの不法移民の流入の増加が顕著となっていることを受け、本件の解決に向け、関係諸国間における会合が行われた。

(1) コロンビアとの外相会談

6日、コロンビアからの働きかけを踏まえて、モイネス外相はラミレス・コロンビア副大統領兼外相と両国の治安大臣の同席の下で会談し、パナマとコロンビアの両国政府が不法移民の国境地帯の危険地域の移動管理につき協力することで一致した。モイネス外相は、本会談において、パナマは、一連の不法移民問題については、（移民の出身国から最終目的国まで）関係国全てが関与する形によってのみ解決する、また、移民問題には組織犯罪という側面があるこ

とにも留意する必要があると述べた。

(2) 周辺国を交えた閣僚級会合

ア 11日、モイネス外相は、6日のコロンビアとの外相会談の結果を踏まえ、米州地域諸国に呼びかけて不法移民問題に関する初の閣僚級会合をオンラインで実施し、各国よりは、Uzra Zeya米国務次官（文民安全保障・民主主義・人権担当）、メンディチーノ・カナダ移民・難民・市民権相の他、中南米諸国の外相等が出席した。

イ 同会合において、パナマとコロンビアは、コロンビアからパナマへの移民の入国受け入れ数を8月は1日あたり650人、9月以降は500人とする事で合意した他、米州地域が直面している不法移民問題に関し、地域全体で取り組んでいくことにつき参加国より賛同を得るとともに、喫緊に対処を要するものについて協議するため、近く、実務者会合を実施することにつき合意した。

(3) コスタリカを交えた不法移民受入数にかかる協議

13日、ゴサイン・パナマ移民局長はコスタリカを訪問し、コスタリカ及びコロンビアの移住問題担当当局関係者と会合を行った。当地報道によれば、パナマ側のコロンビアからの不法移民受入数が確定したことを踏まえ、パナマは国内に不法移民が滞留するのを回避するため、現在コスタリカのパナマからの不法移民受け入れ数が1日あたり100-150人であるのを、コスタリカ側の受入数を増やすことを目指すこととなっている。

(4) モイネス外相の移民に関する第1回地域会合への出席

25日、モイネス外相は、オンラインにて開催された移民に関する第1回地域会合に出席し、米国に向けた大規模な人の移動にかかる問題につき、墨及び中米諸国外相と協議した。同会合において、モイネス外相は、南米から中米に向けた移民の増加は（当館注：本年に入り、コロンビア国境からのパナマへの不法移民の増加が顕著となっている）、中米の北部三角地帯（当館注：ホンジュラス、エルサルバドル及びグアテマラ）の移民に加えて、米州地域の状況をより複雑にする要因となっているので、適切かつタイムリーな対処に資するよう（地域間で）協調的に行動する必要があると、参加国外相に対し提起した。

2 ハイチ地震関連

(1) パナマ政府の緊急人道支援

17日、パナマ政府は、ハイチで発生した地震の被災者に対し、パナマ国民による支援として、食料品、医薬品、水、テント等15トンにおよぶ人道支援助物資を送付した。今次支援助物資は、（チリ政府より提供を受けた）チリ空軍機により、パナマの航空海上保安隊（SENAN）の飛行場より運搬された。

(2) モイネス外相のOASの常設理事会特別会合への出席

ア 20日、モイネス外相は、オンラインでOASの常設理事会特別会合に出席し、8月14日の地震により甚大な被害を受けたハイチにおける人道的危機について協議した。

イ モイネス外相は、同会合において、パナマが世界の6か所に所在する国連人道支援物資備蓄庫（UNHRD）（注）の一つを有し、米州地域では唯一の同備蓄庫として重要な役割を担っていることを確認した他、ハイチへの保健衛生・医療品及び食料品の救援物資の供給には、米州域内の調整が不可欠であると述べた。なお、同会合には、アンリ・ハイチ首相の他、セルヒオ・ディアス＝グラナドス・アンデス開発公社（CAF）総裁やリカルド・マルティネス米州開発銀行IDB副総裁等も出席した。

（注：国連人道支援物資備蓄庫（UNHRD：United Nations Humanitarian Response Depot）は、国連世界食糧計画（WFP）が運営する人道支援機関のために調達した緊急援助物資を保管し、迅速に輸送する備蓄庫で、パナマを含む世界の6か所イタリア（布林ディジ）、ガーナ（アクラ）、マレーシア（クアラルンプール）、スペイン（ラス・パルマス）及びUAE（ドバイ）に設置されている。）

（了）